

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年 8月25日
【会社名】	理想科学工業株式会社
【英訳名】	RISO KAGAKU CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 羽山 明
【本店の所在の場所】	東京都港区芝五丁目34番7号
【電話番号】	03(5441)6611
【事務連絡者氏名】	常務取締役 高橋 靖宏
【最寄りの連絡場所】	東京都港区芝五丁目34番7号
【電話番号】	03(5441)6611
【事務連絡者氏名】	常務取締役 高橋 靖宏
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社及び連結子会社の財政状態及び経営成績に著しい影響を与える事象が発生しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生日

平成21年8月25日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

当社は従業員の年金給付を厚くすることを目的に東京文具工業厚生年金基金に加入しております。同基金は加入員数に対する年金受給者数の割合が増加傾向にあり、年金給付のための支出が掛金収入を上回っている状態です。また、資産運用状況も悪化しており年金資産が年金負債に対して不足しているため、その解消を目的とした特別掛金が発生しております。今後、特別掛金の負担増のおそれがあり、当社の業績に悪影響を与える可能性があります。このような理由から、当社は同基金を脱退することいたしました。なお、基金の加算部分につきましては当社独自の企業年金に移行する予定です。脱退時期につきましては、本年9月末の脱退を同基金に申請し、代議員会の決議及び厚生労働省の認可を経て確定する予定であります。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

同基金からの脱退に伴い、脱退時特別掛金として約60億円の支出が見込まれております。当社は平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）第2四半期累計期間において、これを特別損失として計上する予定であります。

また、厚生年金基金からの脱退に伴う特別損失の計上を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討しました結果、繰延税金資産約27億円を取崩す見通しとなりました。これにより平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）第2四半期累計期間において法人税等調整額（税金費用）として約27億円を計上する予定であります。

以上